

# しのばず自然観察会より 2026-4 2026.04.04

## 2026年4月の活動 不忍池定点観察 4月19日(日)



集 合:午前10時 不忍池 蓮池西南端  
野外ステージ西側  
(湯島天神下交差点寄り) 緑の小旗あり  
今回は雨天中止

持 物:筆記用具、双眼鏡、飲み物、雨具  
(マスク、敷物、昼食)

解 散:午後1時頃、ボート池テラスの予定  
参加費不要 非会員の参加歓迎

徒歩 20 分程の園路を 1 時間半かけて歩きます。

5月の定点観察会は10日の予定です。

## しのばず自然観察会の会計監査選出について

2月の例会が雪のため開催できませんでしたので、3月例会(定点観察会)で、坂部美枝子会員が会計監査を担当することが承認されました。

## 2026年3月15日 不忍池定点観察より

水ぬるむという気持ちになる快晴の一日、9名が参加しました。花見にはあと数日というタイミングながら、不忍池にはけっこう人出がありました。先月の雪の日とは大違いです。蓮池南西端の交差点脇のイチョウの幹の途中から伸びているサクラの花は、見ごろでした。

池の周りには花見の看板や花見用の大きなゴミ入れが複数設置され、すっかり花見準備 OK。蓮池の南・東園路では催し TENT やキッチンカーなどが両側を占拠。蓮池の浮き橋通路東西両面には壁をつくるように、昨夏



イチョウの幹から出た枝に咲くサクラ(品種は陽光らしい)気づかず下を通る人も多い。

の風鈴の代わりに、今回は多色のプラスチックの小型風ぐるまが15個×3段×約18区画(通路

の両側合計)×2(東・西通路)。これらが風に回ってピカピカ光る、あたかも畑に設置する鳥よけの反射板のよう。鳥獣保護区なのに、鳥を追い払うための装置のよう。自分が主役とでも言いたげな派手さ。もっと主役のサクラを引き立てる工夫で勝負してほしい。

上野動物園西園の南端にあるメタセコイアにはカワウが営巣を始めヒナもいますが、メタセコイアの大木が2本、電柱(丸太)のように枝をほとんど切られ、残ったメタセコイアも枝先を刈られていました。また、隣接する蓮池畔の落羽松の大木にかけられたカワウの巣は撤去されていました。



蓮池南浮き橋園路両側を壁のように埋めた風ぐるま群



4本のメタセコイアのうち2本が電柱状に(赤矢印)



コゴメイヌノフグリの花

前月、動物園工事担当課長からこのカワウの巣への対処について相談を受けましたが、糞よけの対策と来園者への注意喚起の話が中心で、ここまで樹木を強剪定するとは。

間もなく北へ帰るはずのキンクロハジロ(約80羽)とホシハジロ(オス14羽、メス7羽)が見られました。来年も来てくれるでしょうか。

年明けのころ、種子から生まれたばかりのように見えたコゴメイヌノフグりが、この日はポート池西岸園路で満開でした。生育地は北方向に広がった感じですが、園路全体では密度が低下していました。

確認できた野鳥:キンクロハジロ、オナガガモ、カルガモ、ホシハジロ、オオバン、カイツブリ、ユリカモメ、ウミネコ、カワウ、ハクセキレイ、カワセミ、コサギ、アオサギ、ダイサギ、シジュウカラ、メジロ、ウグイス、ハシブトガラス、スズメ、ドバト、ムクドリ、ヒヨドリ、ワカケホンセイインコ

### 3月の不忍池 小川千恵子

2026.03.15(日)晴

9:09. ボート池、目の前にホシハジロ雌4、雄7が、首を曲げて、丸くなって眠って浮いている。オオバン2。キンクロハジロ5。皆が眠っているまん中にカワウが滑り込むように降り、北へ進む。皆は一斉に目覚めて首を上げるが、多くはまた眠り、残りは泳ぎ出す。キンクロハジロ6が南へ泳ぎ出す。北の方からオオバンの大きな鳴き声がきこえる。手前にいるオオバン2羽の内、1羽がキュキュと小さな声で鳴くともう一方が応えるように鳴き交わす。ユリカモメ10が鳴きながら飛び回り始める。筏にカルガモ2。ホシハジロ雌1、雄8。

池にボートが出ておらず、キンクロハジロ、オオバン、ホシハジロ計28羽が池中央へ泳ぎ出す。浮き橋の上でキンクロハジロを数えると34。北側のベンチに餌まき男性がいる。ユリカモメが寄って行く。キンクロハジロは数羽が羽をバタバタさせて、水中から飛び上がるようにして、羽づくろい。バタバタ音も気にせず眠り続けるもの、まき餌に気づいて寄っていくものがある。

ムクドリ3が動物園方向から南へ鳴きながら飛ぶ。9:38。ボートが6せき出ている。ボート1せきが、水面に広がっていたキンクロ集団の方へ寄って来る。ボートは池の西側を北へ進み、鳥達は一斉に北へ逃げる。ボートがUターンするとキンクロたちは集まって、少し南へ行き、また北へ進む。キンクロは58羽。内雌は6羽。

筏の上に、カワウが両翼を広げて北を向き、背に陽を浴びながら、翼をパタパタ動かしている。ホシハジロを数え直す。メス4、雄11。オナガガモ雌雄1ずつが筏のアシの陰に眠る。

ハンの木に雄花は無くなった。オオイヌノフグリ、コゴメイヌノフグリ。コゴメイヌノフグリはどうとうハンの木の下まで北上してきた。他の下草は5cm位まで伸びているがイネ科はまだ出ていない？

ガンジン像。ムラサキハナダイコンの花一輪。ガンジン像の南の方ではイネ科の細い葉が10cm位伸びている。タチアオイは50cm位まで伸びて、大きい葉を広げている。ピンクの花のヒメオドリコソウがあちこちに咲く。ベンチ前の池の中の鉢のガマの穂の北にコサギ。チョコチョコ鉢のへりを歩いて、嘴を水に突っ込んで餌を漁り、飲み込む。この鉢の北の水面にビニール製の黄色い小さなおもちゃのアヒルが漂う。この鉢の南隣の鉢にはアオサギがこちら向きに立ち、首を短くして眠る。そのまた南隣の鉢にはカメ(アカミミ?)が両脚を南北にピーンと伸ばして日光浴。冬眠から目覚めた？

時間がきたので大急ぎで集合地へ。途中イチョウがある島状の所にネズミのトラップ有。気付

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方  
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL:<http://sinobazu.extrem.ne.jp>  
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円  
E-mail: [uenoyanesen25@yahoo.co.jp](mailto:uenoyanesen25@yahoo.co.jp) (at を@に替えて送信してください)

\*\*\*2025年以前の会費未納の方も忘れなく！退会の場合は早めに葉書で事務局へ\*\*\*

いてから先に 3 個。全部でいくつあるのか、中にかかっているのかは？ヨウコウと書かれた札の付く濃いピンクの桜が咲き始めている。

集合地。

交差点そばにあるイチヨウの幹から出ているサクラ(たぶんヨウコウ)も咲き始めている。イチヨウもまだ緑の葉を出していないので、黒々とした幹に、突然の濃いピンクの花はとても目立つ。花が終わって、双方の緑だけになると全く目立たなくなる。

オオイヌノフグリ。咲きかけのタンポポ 1 輪。ヒメオドリコソウ。カンナや菊や色々の植物が出ていた所の大きな園内案内の看板が無くなった。その東に小さい花見用の地図看板が立つ。元看板下には、咲き終わりの水仙、菊の葉群。カタバミの大きな葉がある。カンナの葉は？

南側の植え込みには水仙が咲く。吉野山桜と書かれた桜の蕾はまだ固い。イズヨシノは蕾が大きい。大きな大きな臨時のゴミ置き場。英語の表記付き。燃えるゴミとプラゴミに分かれている。桜が開花し、花見客が多くなる日が近い。

野音西の池の端の方にコサギ1。水が出ているあたりで、コイパンをまいている男性あり。Iさん「水が汚れるから餌はやらないで」と声をかけるが、無視。しばらく2人で見続けていると、立ち去る。Iさん「たぶん、あの人は別の所に行って餌をやるよ」と。手すりのすぐ横に、「上野恩賜公園管理所、東部公園緑地事務所、上野警察署」の連名で、「餌やり禁止」の札がぶら下がっている。Iさんとこの札の印刷物があると良いのにネエと話す。あとで思うと、この場所は前にも餌やりの人がいた。どうも餌をやり易い場所になっているのではないか？だから札が下げられた。しかし効果が今一ということか？もっと大きな札にしてはどうか？

カイツブリ1羽、ピョンと水面から跳びあがって水の中へ。野音西には赤いサザンカが咲く。シマサルスベリの幹に J-0017、J-0018のテープが貼られている。(潔にきくと、幹径0cm以上の木は東京都の財産とか)

浮き橋の手すり上にキラキラ輝く無数の風車がぶら下がる。羽は桜の花びらの形。水面にそれが映るので、輝きは倍増。回る音がすごい。2025年3月16日の観察会は雨で中止。4月6日の観察会の記録には、この風車が登場する。去年の新聞には3000個と書いてあった。輝きは、よく田んぼで実った稲の中に張られるキラキラテープと同じような感じ。鳥獣保護区指定のこの地で、まるで鳥よけのような風車群。ブラックユーモアとしか言いようが無い。この風車群を設置したことで上野の街はどれだけもうけたのだろうか？経済効果は？桜の時期の観光宣伝とは言え、もっと何か別の方法は考えられないものだろうか？東京都が問題視しないのも不思議。鳥獣保護区指定の場で鳥よけの音と輝き、おかしいよ。

浮き橋の東側の渡り終わりの水面を見ると、茶色に枯れた蓮の実と共に、明治安田上野支



店 上野観光連盟と書かれた、昨夏の風鈴の風受け板が、ペットボトル、缶、テッシュの外側等のゴミと一緒に浮かんでいる。観光連盟の名誉の為にも、きちんと回収したほうが良いんじゃないかと思う。それとも蓮が伸びて見えなくなるのを待って、知らん顔？どうせ夏には、また風鈴を下げるのだから？

浮き橋を出ると野音の入口からしたまちミュージアム前まで飲食やゲームのテント店やキッチンカーが並ぶ。店の中からは、外国語がきこえる。

浮き橋を出たところにノボロギク。テントの南に少し薄めのピンクの桜が咲いているようだが、テントがあるので確かめられない。

したまちミュージアム前の河津桜3本は咲き終わり頃で、葉が出始めている。1本にメジロが来て蜜を吸う。このあたりを野音北の方から見ると、上がピンク色、下が緑色のかたまりに見える。

アキニレはまだ眠りの中か、変化が見えない。タンポポ2輪が地べたにくつつくように咲く。オオバン2羽。それとは別に、参道入口手前のアシ原の水面に1羽のオオバンが潜っては出てきて水面をバシャバシャやっているのに気付く。バシャバシャやって潜り、出てきては水面で何やら動く物をつついて、飲み込む。こんなオオバンの漁は初めて見た。何度かやって、満足したのか、そこから泳ぎ出して南へ。グェツ！と声かしてカワウが水面に降りる。

弁天堂参道手前の一帯は古物市のテントが並ぶ。東側では、猿まわしの演技が始まる。テントの西側(池側)にあった、枯れてしまった菊桃と大漁桜はテントがあるので見えない。藤棚の方から双眼鏡で見ると、枯れたままの幹、枝が立っていた。

参道の出店の北側にある、しだれ桜は花も葉も見えない。蓮池のアシ原北側にアオサギ。弁天堂のお清めの手洗い場(洗心台と名が付いていた)の左右の紅・白の梅は咲き終わって、少し葉が出ていた。

## 藤棚

東南にある、切った桜の幹から伸びた紅色の桜が咲く。ダイサギが脚の長さいっばいの深さの水の中を歩いて、スツと嘴を水に入れ、魚を漁って飲み込む。カワセミの音がする。Saさんに「今朝、ウミネコを見た？」ときかれ、「見なかった」と答える。もうウミネコも来てるんだ？ホーホケキョと鳴き声かした、とSaさん、Iさん。アシ原にカワセミが来た。アシ原と西の蓮の棒状の枝葉の間をカワセミが行ったり来たり。Iさん「色合いが渋いから幼鳥？」ときかれる。Saさんが幼鳥であることを確認。初参加のTさんがカメラで撮って嘴の先を見て「メス」と。シジューカラがアシ原に入る。藤棚南西に少し小さめのカワウが来て、こちら向きに立って、羽づくろい。羽づくろいついでに白いフンをする。お腹がまっ白！2024年3月10日の観察会で頭上をカワウが低く飛び、おなかまっ白なのに驚いて、「眼の錯覚？」と書いたが、実在した。幼鳥なのか？写真を撮れば良かった！

藤棚北に植えられた細いカンヒザクラ5本はそろそろ咲き終わり。藤棚を出て西へ。落羽松に長いロープがUの字の逆さの形で樹上からかけられている。カワウの巣作りよけ？落羽松の北の動物園地内のメタセコイアには巣がかけられていたが、何本かは大きい枝が全部スポ

ンと切られて幹だけになっている。1月に見た時には、もしかしたら巣壊しの為に根元から切られてしまうのではないかと心配していたが、そうはならなくてホッとす。今年ダメでも、来年には緑の枝や葉が伸びてくるだろう。巣がかけられている動物園のフェンス寄りのメタセコイアには、幼鳥もいてグミグミと鳴き声がする。内、2羽の幼鳥がひととき大きな声で鳴き続ける。と、親が来て嘴から餌を出し与えると、途端に静かになる。与えるのは1回ではなく、続いて次を出して与える。いったい何匹の魚が入っているのか？ 見ているとおもしろい。飽きない。ずっと見ていたい。しかし、メタセコイアも動物園も大変。共存できる何か良い方法はないものか？

高い空に遠くから、羽ばたきもせずまっすぐに東から西へ行き、グルーっと回りながら降りてくる黒い大きな鳥。何とカワウ。

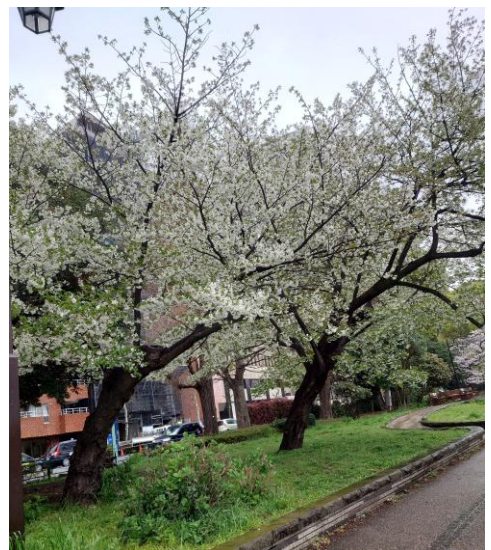
メタセコイア手前の手すりのところのユキヤナギが咲く。柳に花が付いているのに気づく。J2 67番の柳。

ポート池北側で。ホシハジロメス6, 雄14. 今季一番多い。集まって北帰行が始まるのかな？ カルガモ2, オオバン1. 浮き橋で鳥達を見ていると、池の西側で初老の男性が手すりの池側に入って、紙袋からパンらしき物を投げ始めた。他の2人の女性と小学生位の2人の女の子が手すりの外の園路にいる。Iさんと私「困ったものネ」等話ながらじっと見る。見られていることに気づいたのか、女性たちに言われたのか少しするとパンまきはやめて、道路に戻って、全員で浮き橋の方へ。この人達もまた、人目の無い所で餌やりを再開するのか？ そういえば、この場所も結構餌まき人がいる。ここにも、前述の「餌やり禁止」札を大きくして立ててほしいものだ。

昼食時、ウミネコ 2羽発見。

沢山出ているポートにかまわず、1羽のカワウが両翼を広げてバシャバシャと水面を叩く。そして、スツと首を水につっこんで魚を漁って飲み込む。またバシャバシャをやって魚を漁って飲み込む。何度もやって飛んで行った。カワウはこうやって漁をするんだ！ 子育てに一生懸命のカワウ、動物園ではこれから、どうしていくのだろうか？

☆先々月、先月のお知らせに、切られた大島桜について書きました。観察会の終わりに皆が集まるテラスのベンチの裏の大島桜だったのですが、実はベンチの南に、もう1本大島桜があり、そのまた南に2本の大島桜らしき桜があります。真ん中のは大きくて枝が園路を越えるように伸びるものでした。花が終わって葉だけになると何の桜かわからなくなりますが、白い花がとてもきれいでした。ちなみに大島桜の葉は、桜もちの葉になります。池は、雨の中、キンクロハジロ雌2雄3、オオバン 1、カルガモ3とユリカモメ達の姿がありました。他はもう旅立ったのかも知れません。(4月1日)



大島桜らしい2本の桜